

東京音楽大学付属 民族音楽研究所主催

インドネシア・ジャワの伝統音楽と舞踊 ガムラン講座 発表会

2019.3.2（土）東京音楽大学 J 館スタジオ

本学の付属機関である民族音楽研究所では、インドネシアの伝統芸能であるガムランの演奏・舞踊を広く学べるよう、社会人を対象とした「ガムラン講座」を開講しています。講座の最終日には一年間の練習成果を披露する場として、毎年発表会が開催されています。

本講座には合奏コースと舞踊コースの 2 つのクラスがあり、合奏は今年で 23 年目、舞踊は今年で 21 年目を迎えます。毎週、幅広い年代や職業の方々がアンサンブルを楽しんでいます。



ガムランとはインドネシアの伝統音楽で、地域によりさまざまなスタイルがあります。本発表会は中部ジャワの古都スラカルタの様式で、青銅製打楽器を中心とした大編成のアンサンブルです。宮廷音楽として発達し、庶民の間でも結婚式の祝い事などさまざまな儀式で演奏されます。



普段はピアノや管弦楽などの西洋音楽が演奏されることの多いJ館スタジオですが、この日は神秘的で煌びやかな空間へと一変。会場は立ち見が出るほどの盛況ぶりで、青銅製打楽器がたえまなく刻む柔らかく心地よい響きのなか、聴衆は日常の喧騒から離れ、インドネシア・ジャワのゆったりとした時間の流れに包まれました。

